



南台 校長室だより

令和3年度

No. 94

プレハブ棟も教材～地域ふれあい学習

6年社会科：みんなの願いを実現する政治

本校では、連携教育の核として「地域ふれあい学習」とネーミングした学習があります。「地域ふれあい学習」とは…主として以下のような学習です。

- ①地域や学校についての学習
- ②地域に出かけて、地域にふれる学習
- ③地域の施設や企業での学習
- ④地域の方や専門家等の外部人材（人財）をゲストに招いての学習
- ⑤地域の学校や幼稚園、保育園、関係諸機関と連携した学習
- ⑥地域や保護者の方が共に参加する学習 等

昨年度の校舎の思い出プロジェクトや訪問、保護者の方のボランティア参加等も含まれ今年度も既に全学年で実施しています。図工科では「地域ふれあい展示」も行っています。

その「地域ふれあい学習」の紹介です。6年生が5月～6月に社会科で「みんなの願いを実現する政治」の学習をしました。教科書では埼玉県川口市の「あすばる」という児童センター（児童館）を取り上げていましたが、学習の中で「そういえば、キッズプラザはどうやってできたのだろう？」という疑問も湧き上がっていました。区役所の子ども教育施設課に移転も含めお世話になっていたので、率直に相談したところ、課長さんが来校して発展教材として授業を実施する運びとなりました。はじめはゲストティーチャーとして学年でお話を伺う予定でしたが、内容を詰める中、各学級に参加、学級担任とのTT授業としての実施になりました。正に担任と2人でかけ合いながら学習を進めていきました。

キッズプラザのあるプレハブ棟は、みなみの小移転とともに取り壊しが決まっていたが、移転準備連絡委員会や学校、地域、保護者…様々の方の意見を聞き（ここには児童の校舎へのアンケートも入っています。）、残していく方向に計画変更になりました。

プレハブ棟のリース料は毎月約132万円、これが4年の延長です。また、仮の建物であるプレハブの延長は建築基準法にも基づいた調整が必要でした。授業では、法律の壁と予算の壁を乗り越え、補正予算への議案を作って、子ども文教委員会でその必要性を説明、議決を経て成立したという経緯を分かりやすく、疑問も投げかけながらお話いただきました。「あすばる」という典型的な教材での学習の後、「キッズプラザ新山」のプレハブ棟という具体的な教材で大変身近に感じたのではないかと思います。

そして、身近な内容に加え、学級担任と塚本課長の絶妙なかけ合いや受け答えが子供たちの意欲も高め、よく考える学習につながっていったと思っています。塚本課長は学習の最後に、「中野区内の学校施設みんながよくなることを考えて仕事をしています。どうぞ将来、中野区役所にも就職して下さい。」とお話されました。授業が終わっても生き生き質問する子供の姿があり、印象的でした。当日は施設課の本校担当の方、キッズプラザ新山の所長さんと統括リーダー、運営委員会の方も資料提供に加え、学習の様子を見て下さいました。たくさんの方のおかげでできた授業でした。ありがとうございました。



＜6年生の学習のまとめ、感想から＞

○最初は自分たちの税金を使っていることだけがかかっているかと思っていただけ、話を聞いて自分たちがどうすればよりよい学校生活を送れるかというように自分たちを思ってくれている人だなあと感じました。キッズ・プラザは1年生の時からは行ってはいなかったけれど、マンガや大会などがあって少し行きたくなくなりました。自分たちのために法律の壁、予算の壁をクリアしてくれているから今の学校生活ができています。塚本さんや区役所の人はずごいなと思います。これからはプレハブをこわして、校庭が広がって欲しいと思っても、なくなったらどうなるかも考えてみたいです。また、そういうことを言う子がいたら簡単に説明してあげたい。

○今回、プレハブを支えてくれたり、推して下さる塚本さんたちに授業をしてもらって教科書より分かりやすく、教科書に記さされていないことも学ぶことができ本当によかったです。今、図工室や算数少数教室があるのは塚本さんのおかげだなという感謝の気持ちを思いながら、これから使っていきたいです。また、下級生にもこのプレハブについて教えてあげて、感謝の気持ちを忘れないで欲しいと思います。

○この南台小学校のしき地の中にプレハブがあるのは当たり前だと思っていました。けれど、今も残っているのは、教育委員会の人たちが補正予算案を区議会に提出するなどのことをしてくれていると分かっておどろきました。なので、プレハブが今残っているのはとてもすごいことなので、大切にしていきたいと思いました。そして、自分たちで良くするキッズ・プラザを意識していきたいです。

南台小学校社会科特別授業
みんなの願いを実現する政治
 中野区教育委員会事務局
 子ども教育施設課長
 塚本 剛史 様 を迎えて
 令和3年7月14日(水)



プレハブ棟設置の経緯
 ○そもそもプレハブとは？
 ○レンタル料が発生
 →毎月約 円
 ○なぜ、設置したのか？
 ○プレハブ設置期間は？

プレハブ棟設置の経緯
 ○そもそもプレハブとは？
 ○レンタル料が発生
 →毎月約**132万円**
 ○なぜ、設置したのか？
 ○プレハブ設置期間は？

プレハブ設置期間の変更
 ○南台小新校舎建築が
 2年間→4年間へ
 ○キッズプラザ、学童は
 学校敷地内に

プレハブ設置期間の変更
 狭くても2年なら…我慢も
 …でも、4年は…長い…
 校舎移転準備連絡委員会
 町会長 PTA役員
 学校評議員 校長 副校長

プレハブ設置期間の変更
 4年間の学校運営を考えると…大変厳しい…
 図工室…けやきルーム…
 算数少数教室…相談室
 学校長より

プレハブ設置期間の変更
教育委員会での議論
 プレハブがなければ校庭は広いが、総合的に考えてプレハブを残す方向に計画変更する。

設置期間の変更の手続き
 プレハブを4年+4年
 残すのは異例中の異例
 まずは建築法上の手続き

設置期間の変更手続き
 9月以降のプレハブ棟の
 レンタル料の確保
 令和2年度予算は決定済

設置期間の変更手続き
 年度途中の新たな予算
 →「**補正予算**」
 中野区議会に提案と議決

設置期間の変更手続き
 中野区議会第2回定例会
 「**補正予算**」を議案提出
 子ども文教委員会で審議
 プレハブの必要性の説明
 →補正予算成立

課題～調べてみよう
 中野区議会会議録
 令和2年
 子ども文教委員会

南台小学校社会科特別授業
みんなの願いを実現する政治
みんなの願いを実現する政治
塚本 剛史 様 から
 令和3年7月14日(水)

キッズプラザ新山運営委員会

みんなの願いを実現する政治
わたしたちの
キッズプラザ新山



第94号を試行として、6年生のGoogle classroomに掲載していくことを考えています。